

2学期は、いろいろ、大きな行事がありました。運動会や一日遠足、宿泊学習、修学旅行など、子どもたちは、楽しみながらも、一生懸命取り組んでくれたので、うれしかったです。また、学習も、それぞれの頑張りが見られました。3学期は、学んだことを活かしながら、そして、次の学年への準備を行っていきたいと考えています。

学級経営反省

2学期の振り返り

学習面

- 1学期同様、学習姿勢を整えることを意識させ、学習用具（鉛筆、赤青鉛筆、消しゴム、定規、教科書、ノート、下敷き）を確認するようにした。
- できた時の達成感を感じられるよう、1時間ごとの活動の見通しを持たせるようにした。
- 交流学习においては、児童の活動を見守りながら、交流担任と情報交換を行い、頑張っている姿を励ましながら、支援を行った。また、その様子を保護者に伝えながら、児童のやる気を継続するように心がけた。
- 個々に応じた内容や量の宿題については、1学期同様、保護者の協力もあり、ほとんどの児童が取り組むことができている。
- 自立活動では、それぞれの児童の課題に応じた指導や支援を行った。また、季節を感じる製作活動や行事への事前準備を話し合ったりした。鹿屋養護学校の児童と、居住地交流を行い、どんな交流にするか、喜んでもらうためにはどうすればよいかなどを話し合いながら、準備や活動を行うことができた。養護学校の児童や保護者も喜んでいた。
- ★ 3学期では、進級や進学に向けて、個々の課題に取り組みながら、学習や心の準備を進めていきたい。

生活面：

- 1学期同様、2時間目の休み時間には、手洗い、うがい、消毒、水飲み、トイレの声掛けを行い、見届けることができた。下校前には、水筒の中身の量を確認し、きちんと水分をとっているか確認した。今後も声掛けを続けていきたい。
- 水曜日の「ハチツボネブ」検査で、全員そろったことがなく、ハンカチやちり紙を忘れていたので、指導を続けながら、家庭と連携を図っていく。
- 掃除の仕方が上手になり、協力しながら行っている様子が見られた。また、毎週金曜日のひまわり給食では、皿を持って食べることやお箸の使い方などのマナーの指導も行った。苦手としている食材も頑張ってお食べようとする児童も見られた。
- 児童が落ち着ける環境作りを心掛け、リラックスできる場所や配置を行っている。
- ★ 友達への言葉遣いや教室での過ごし方など、一人一人に声掛けを行いながら、善悪の区別をつけるように、今後も指導を行っていきたい。

2学期の反省を活かしながら、3学期へつなげていきたいと思えます。

保護者の方々のご協力、ありがとうございます。3学期もよろしくお願ひします